

#7のヒマワリ

ゴッホが描いた“花瓶のヒマワリ”全7点が一堂に展示



2018年3月21日(水)より

※当館の名画は全て原寸大で陶板に再現したものです。

古代から現代まで鑑賞ルート約4km
西洋名画1,000余点を陶板で原寸大に再現



大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

<http://www.o-museum.or.jp> [Mail info@o-museum.or.jp](mailto:info@o-museum.or.jp)

入館料 一般:3,240円 / 大学生:2,160円 / 小中高生:540円
いずれも消費税等込

前売券でスマート入館 全国各コンビニにて便利な前売券発売中!
前売券 一般:3,100円 / 大学生:2,100円 / 小中高生:520円

〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内 TEL 088-687-3737
9時30分～17時(入館券の販売は16時まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始は開館

連続休館 2018年 1月15日(月)～19日(金)
2018年 2月13日(火)～19日(月)

臨時休館 2018年 3月20日(火)



20th Anniversary

ゴッホ作“花瓶のヒマワリ”

全7点が

世界から集結

新展示

#7つのヒマワリ 陶板で原寸大再現

大塚国際美術館は、2018年3月21日に開館20周年を迎えます。そこで記念事業としてゴッホが描いた全7点の花瓶の「ヒマワリ」を陶板で原寸大に再現し、同日より新たな展示室を設け全て展示いたします。ゴッホが描いた花瓶に入った「ヒマワリ」は全部で7点あるとされ、現在、その作品はオランダ、日本、ドイツ、イギリス、アメリカ、個人蔵と世界各地に点在しています。当館ではすでに2点の「ヒマワリ」を展示しており、さらに5点を加えた7つの「ヒマワリ」を一堂に展示することは、世界でも類をみない画期的な試みであり、原寸大の陶板名画の迫力と魅力を存分に堪能できる展示です。新たな展示にご期待ください。



完成イメージ

ゴッホ 7つの「ヒマワリ」(完成イメージ左から)

- ① 個人蔵
- ② 1945年兵庫県芦屋市にて焼失
- ③ ノイエ・ピナコテーク、ドイツ
- ④ ナショナル・ギャラリー、イギリス
- ⑤ 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、日本
- ⑥ フィラデルフィア美術館、アメリカ
- ⑦ ゴッホ美術館、オランダ

新展示室概要 展示開始 2018年3月21日(水祝)～常設展示
展示場所 大塚国際美術館 B1階 近代ギャラリー

フィンセント・ファン・ゴッホ (1853-1890)

1853年にオランダ南部の街、ズンデルトに牧師の息子として生まれ、聖職者を志すが挫折し、27歳のときに画家の道へ。画商の弟テオを頼ってパリへ、やがて南仏アルルへと移住。親友ゴーギャンとアトリエで共同生活を始めるが2カ月ほどで破綻。その後、オーヴェール・シュル・オワーズで自ら命を絶ち37歳で亡くなりました。

花瓶の「ヒマワリ」は、尊敬するゴーギャンと共同生活をする予定の通称「黄色い家」のアトリエを飾るために描いたのが最初で、ゴーギャンが来るまでに4点、その後に描かれた3点からなる連作です。ゴッホにとって、ヒマワリの花は太陽と光の象徴であり、単なる花以上の存在であったことは確かです。10年という短い画家生活でしたが“ヒマワリの画家”として、その作品は多くの人に愛されています。

関東から

羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分

新幹線
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

中部地方から

新幹線
名古屋より新神戸 約1時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から

高速バス 大阪/神戸など～「高速鳴門」
2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分

路線バス JR徳島駅より 約70分、JR鳴門駅より 約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行

※各地からのアクセスがご不明な場合はお問い合わせ下さい。

周辺地図

